



標準帆走指示書

SAILING INSTRUCTIONS

日本レーザークラス協会が主催、共同主催、または公認する地域選手権などのレガッタでは、この帆走指示書が使用されます。帆走指示書のブランク・選択部分や変更箇所は、公式掲示板に書面で発表されます。



Japan Laser Class Association

2013.04.01

2015年度レーザークラス四国選手権大会は日本レーザークラス協会・香川県ヨット連盟の共同主催により、2015年5月30日～5月31日の期間、高松市立ヨット競技場に本部を置き、高松市立ヨット競技場沖にてレースが開催される。

1. 競技規則

- この帆走指示書によって変更のあるものを除き、全レースを通じて国際セーリング競技規則 2013-2016 (RRS)、日本セーリング連盟規程、インターナショナルレーザークラス規則を適用する。
- 艇をチャーターした場合のセール番号は、チャーター艇の艇体番号あるいはチャーターする本人の艇の艇体番号に合ったものでなければならない。
- ペナルティー方式 RRS 付則 P を適用する。

2. 運営者の責任範囲

日本セーリング連盟、日本レーザークラス協会、公式役員、およびボランティアは、大会期間中における人身事故、物品の損失及び個人的な負傷、あるいは事故に関して、一切の責任を負わない。

この帆走指示書の規程は、競技者個人の責任を制限するものではない。

3. エントリー

- インターナショナルレーザークラス協会の当年度メンバーおよびスポット会員のみ本大会に出場することができる。
- 大会の全レースを通じて、エントリーフォームにヘルムスマンとして、その名を記した者が乗艇しなければならない。

4. 帆走指示書の変更及び選手への通告

この帆走指示書の変更及び選手への通告は、その日の最初のレースのスタート予定時刻の遅くとも1時間前までに、公式掲示板に書面で掲示される。

5. 公式掲示板および陸上における信号用マスト

公式掲示板はレース本部に設置される。陸上における信号用のマストはクラブハウス棟二階テラスに設置される。

6. 陸上における信号

- 陸上における信号は、陸上の信号用マストより発せられる。
- 陸上の信号用マストに“D旗”が掲揚(音響信号1声)されるまでは、いかなる選手も出艇してはならない。
- 陸上の信号マストに“AP旗”が掲揚(音響信号2声)された時は、レースは延期され、予告信号は“AP旗”降下(音響信号1声)後30分以降に発せられる。

7. 計測

濡れた衣類の計測および装備のチェックは、レース委員会の判断により、大会期間中、随時行うことがある。

8. 艇と装備

- 競技者は、唯一の艇体(計測がある場合にはその計測で確認されたもの)、セール(主催者からエントリー番号が配布された場合には、それを第1及び第2パネルに貼り付けたもの)、マスト、ブーム、センターボードおよびラダーのみを使用しなければならない。
- 損傷が生じた場合は、当該レガッタのメジャーより書面による許可を受けた場合のみ、これを交換することができる。

9. 安全

- 各選手は、ライフジャケット あるいは ウェストコースト型救命具を、出艇中は常時着用しなければならない。(RRS 40 を変更)
- レスキューボートに救助を求めるときには、“手のひらを広げて”振り、その意思を表すこと。救助の必要がない場合には“こぶしを握って”振ること。
- 必要とみなされた場合に、各選手は帆走困難の艇を放棄してレスキューボートに乗艇するよう命じられることがある。これらの安全に関する指示に従わない場合、失格となる場合がある。
- 直径6mm、長さ5m以上のパウラインをパウアイにつけておかなければならない。
- マストトップに浮力体を取り付けても良い。形状は球形に限り、一箇所のロープで取り付けなければならない。コンディションにより、付けたり外したりしてもよい。
- フィニッシュ後にリタイアする艇は、帰着後直ちに、プロテストタイム終了以前に、レース本部に報告しなければならない。

10. 出艇・帰着申告

出艇・帰着申告には、次のチェックアウト/チェックインシステムを採用する。

チェックアウト/チェックインシステム: 各艇は、毎日、出艇前にレース本部の所定のチェックアウトリストにサインして出艇し、帰着後直ちに(プロテストタイム内に)チェックインリストにサインしなければならない。

11. レース日程

- | | | |
|-----------------|--------------|--------------------------------|
| <u>5月30日(土)</u> | <u>08:30</u> | 受付 |
| | <u>11:30</u> | 開会式 |
| | <u>引き続き</u> | 艇長会議 |
| | <u>13:00</u> | 第1レース予告信号 |
| | | 引き続きレースを行う |
| <u>5月31日(日)</u> | <u>10:00</u> | 当日最初の予告信号 |
| | | 引き続きレースを行う |
| | | (<u>2日間</u> で最大 <u>5</u> レース) |
| | | <u>14:30</u> より後に予告信号は発しない |
| | <u>16:30</u> | 表彰式 |
- 前述のプログラムおよびスタート時刻は、それが発効する前日の19:00以前に公式掲示板に掲示することにより変更される場合がある。

12. クラス旗

スタンダードのクラス旗は白地に赤あるいは赤地に白、ラジアルはグリーン地に赤、4.7はイエロー地に赤のレーザーマークとする。

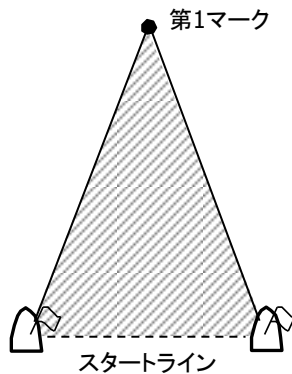
13. スタート

- スタートラインは“オレンジ旗”を掲げたコミッティーボート上のマストと帆走指示書 16(b) に示されるスターティングマークとの間とする。
- スタート信号後4分以降にスタートした艇はDNSとされる。(RRS A4, A5 を変更)
- 各クラスは、レーザークラス、レーザーラジアルクラス、レーザー4.7クラスの順にスタートする。

14. スタートの罰則ルール

- 通常の罰則ルール
黒色旗が準備信号として掲揚されない場合、すべてのレースにU旗が掲揚され、スタートに下記のルールが適用される。(RRS 29 を変更)

「スタート信号前 1 分間の間に、艇体、乗員・装備の一部でも、スタートラインの両端と第 1 マークとで作られる三角形の内側にあってはならない。艇がこの規則に違反して特定された場合には、その艇は審問なしに失格とされる。ただし、レースが再スタートまたは再レース、またはスタート信号前に延期または中止された場合は失格とされない。」



b) “黒旗” の罰則ルール

(i) RRS 30.3 [黒色旗規則] に下記を追加する。

セール番号またはエントリー番号は 2 分間以上掲示される。番号の掲示と同時に音響信号 1 声が発せられる。番号の掲示された艇は、新たな準備信号以前にレースエリアを離れなければならない。

(ii) レースエリアの定義は下記のとおりとする。

スタート信号前 — スタートラインから 100 m 以内。

スタート信号後 — ヨットが通常のレースで帆走するであろうと思われる場所から 100 m 外側に引かれた仮想線の内側。

(iii) レース委員会が RRS 30.3 [黒色旗規則] の適用により、ある艇が RRS 62.1(a) [救済] による救済要求の権利があると判断した場合は、番号は掲示せず、その艇を失格にしないという形で救済を与える場合がある (RRS 30.3 [黒色旗規則]、60.2 [抗議の権利及び救済の要求の権利、または RRS 69 を適用する行為]、63.1 [審問の要件] を変更)。

15. コース、及びレースエリア

a) コースは、おおそ末尾のコース図に示されるように設定さる。

16. マーク

- a) マーク 1、2、3 は オレンジ色の三角形のブイ、
 マーク 1、2、3 の変更マークは、赤色の三角形ブイ とする。
 マーク 1' は オレンジ色の俵型のブイ、
 マーク 1' の変更マークは、赤色の俵型ブイ とする。
- b) スタートマークは、黄色の円筒形のブイ とする。
- c) フィニッシングマークは、黄色の円筒形のブイ とする。

17. コースの次のレグの変更

下記のとおり RRS 33 [コースの次のレグの変更] を追加する。

- a) コースは、通常のマークの位置を変更することが不可能な場合には、1 つあるいは複数の変更用マークを使用してセットしなおされる場合がある。変更用のマークがすでに使用されている場合には、コースが通常のマークを使用してセットしなおされる場合がある。
- b) ゲートの場合を除いてコースが変更された場合、艇はコースの変更を指示しているコミッティーボートとその近くのマークとの間を、そのコミッティーボートを右側に見て通過しなければならない。この場合、RRS 28.1 [コースの帆走] は、次のように変更される。「艇の航跡で示す線はマークあるいはコースの変更を指示しているコミッティーボートの定められた側に触れなければならない」。
- c) レグの長さの伸縮を示す “+” および “-” の信号は示されない。(RRS 33(b) を変更)

18. コース短縮

4 レグ以上を消化した場合のみ、コースを短縮することがある。

19. フィニッシュライン

フィニッシュラインは “青色旗” を掲げたコミッティーボートのマストと、帆走指示書 16(c) に示されているフィニッシングマークとの間と

する。

20. タイムリミット

トップ艇フィニッシュ後、20 分以降にフィニッシュした艇に、フィニッシュしなかった艇(DNF)としての得点が与えられる。(RRS 35, A4, A5 を変更)

21. プロテスト

- a) プロテストは書面にてプロテストタイム内にレース本部に提出しなければならない。プロテストフォームはレース本部に用意される。プロテストタイム・リミットは、その日の最終艇のフィニッシュ後 45 分、あるいは公式掲示板に掲示された時刻とする。
- b) 審問の時間と場所は、プロテストタイム終了 20 分以内に公式掲示板に掲示される。
- c) レース委員会あるいはプロテスト委員会から艇に対する抗議は、プロテストタイム終了までに公式掲示板に掲示される。(RRS 61.1(b))。
- d) 最終日における再審の要求は、前日の抗議の裁決による場合はプロテストタイム終了後 20 分、当日の審問の場合は、裁決を言い渡されてから 20 分以内、最終日がノーレースとなった場合は、AP/A 旗が掲揚されてから 20 分以内とする。
- e) 帆走指示書 1, 3, 7, 8, 9, 10, 24 及び RRS 55 の違反についてのプロテストは、艇からはできないものとする。(RRS 60.1(a) を変更) これらの違反については、プロテスト委員会は失格に代わって低めのペナルティー(DPI)を与えることができる。

22. 得点方法

得点方法には、RRS 付則 A の低得点方法を適用する。

ただし、4 レースまたはそれ以下の場合は、すべてのレースの合計を得点とする。最低 1 レースをもって本大会は成立する。

23. 賞

下記の賞が授与される。

レーザークラス 1 位～3 位 賞状および賞品

レーザーラジアルクラス 1 位～3 位 賞状および賞品

レーザー4.7 クラス 1 位～3 位 賞状および賞品

ただし、参加艇数が 8 艇に満たないクラスは 1 位のみ賞状および賞品を与える。

24. チームボート

延期信号が発せられない限り、チームボート及びサポートボートは、最初の予告信号から最終艇のフィニッシュまでの間、レースエリアに入ってはならない。スタート延期信号が発せられた場合は、その信号が発せられてから、延期信号降下後の最初の信号までの間、チームボートはレースエリアに入ってもよい。

このインストラクションに違反した場合、関連するヨットをシリーズ全体から失格の対象とする場合もある。

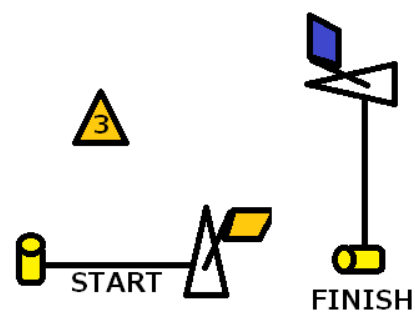
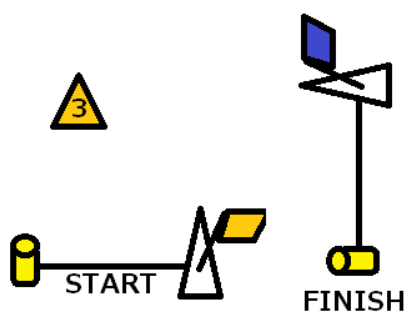
※コース図

レーザークラス

レーザーラジアルクラス



レーザー4.7クラス



レーザークラスおよびレーザーラジアルクラス
START→1→2→3→1→3→FINISH

レーザー4.7クラス
START→1'→2→3→1'→3→FINISH